バックアップ装置 ファームウェア アップデートツール操作手順書

以下のバックアップ装置をお持ちのお客様で、本サーバに搭載のSCSIコントローラ（オンボードSCSI）に接続してご利用される際は、バックアップ装置用ファームウェアのアップデートが必要になる場合があります。

お手数ですが、下記のバックアップ装置・ファームウェア一覧表をご確認のうえ、ファームウェアのアップデートが必要な場合は、手順に従い EXPRESSBUILDER 内の "TapeFWUp "を用いてファームウェアのアップデートを実施して頂けますようにお願いいたします。

本アップデートツール対象装置 / ファームウェアバージョン

ファームウェア（以降 FW と記載）のアップデートが必要なバックアップ装置は下記の一覧表の通りです。
下記Nコードのバックアップ装置を接続し、かつ現在の FW バージョンが下記の適用 FW バージョンより低い場合は、3 ページ以降の手順を参照して FW のアップデートを行ってください。

<バックアップ装置・ファームウェア一覧表>

N コード	装置名称	型番	適用 FW バージョン	実行ファイル
N8151-29	内蔵 AIT 集合型	TSL-A500C	L1nb	fwtool_TSLA500C.exe
N8151-34A	内蔵 AIT	SDX-300C or SDX-400C	07n6	fwtool_SDX400C.exe
N8151-36	内蔵 AIT 集合型	TSL-A300C or TSL-A400C	L7n7	fwtool_TSLA400C.exe
N8151-39	内蔵 DAT 集合型	TSL-11000	L2n4	fwtool_TSL11000.exe
N8151-45	内蔵 DAT	SDT-10000 or SDT-11000	02n9	fwtool_SDT11000.exe
N8151-46	内蔵 AIT	SDX-500C	01nm	fwtool_SDX500C.exe
N8560-22	外付 DAT	SDT-10000 or SDT-11000	02n9	fwtool_SDT11000.exe
N8151-41A	内蔵 AIT	SDX-700C	01nm	fwtool_SDX700C.exe

・FW アップデートが必要なバックアップ装置は、上記適用 FW バージョンよりも低いFW バージョンの装置です。
（アルファベットより数字の方が小さくなります。 例 L1nb＞L1n8）

・現行装置の FW バージョンの確認は手順 11 を行い確認してください。

・N8151-41A につきましては、FW Update Tool を Web サイトからダウンロードして頂く手順となります。
(→本手順書の最後のページをご参照ください)

FW アップデート手順

手順は各バックアップ装置とも共通になります。

バックアップ装置によって型番、FW バージョン、使用する実行ファイルが異なります。
各バックアップ装置の装置名称、型番、FW バージョン、実行ファイルは、前ページの<バックアップ装置・ファームウェア一覧表>でご確認ください。
以降の手順は "N8151-29 内蔵 AIT 集合型 "を例に説明していますが、他のバックアップ装置の場合も同様の手順となります。手順書内の装置名称、型番、FW バージョン等を、お使いのバックアップ装置用に読み替えて FW のアップデートを行ってくださるようお願いします。

注意事項 ・本 Tool は NT4.0、Windows 2000 上で動作可能です。 ・ファームウェアアップデートはシステムの再起動が必要になります。 ・ファームウェアアップデートは対象の装置をご使用する前に行ってください。 ・バックアップソフトを起動している場合はサービスを停止させてから、アップデートを行ってください。

1．ドライバを無効にします。(Windows2000 の場合)
   a)[マイコンピュータ]ー[管理]を開きます。
   b)コンピュータの管理画面で[デバイスマネージャ]ー[テープドライブ]ー
     [SONY TSL-A500C SCSI Sequential Device] を選び（右クリックでメニューを開き）、「無効」を選びます。
      ※[SONY TSL-A500C SCSI Sequential Device]が無い場合は既に無効化されています。
      ※「無効」にすることで再起動を要求される場合がありますが、その場合は再起動を行ってください。
   c)「無効」にするかどうかのメッセージが表示されますので「はい」を押します。
   d) "SONY TSL-A500C SCSI Sequential Device "の前に「×」がつき無効となります。
   注 :NT4.0 の場合はデバイスドライバが読み込まれていたらドライバを削除してください

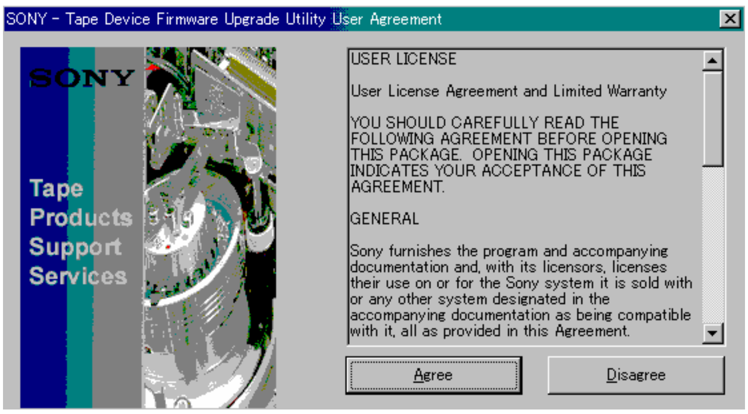
2. AIT 装置にカートリッジが挿入されている場合は EJECT ボタンを押し、取り出しておいてください。

3．EXPRESSBUILDER を対象 AIT 装置が接続されている本体サーバに入れ、[TapeFWUp]-[SONY]-[TSL-A500C]フォルダ内の「fwtool_TSLA500C.exe」を実行します。

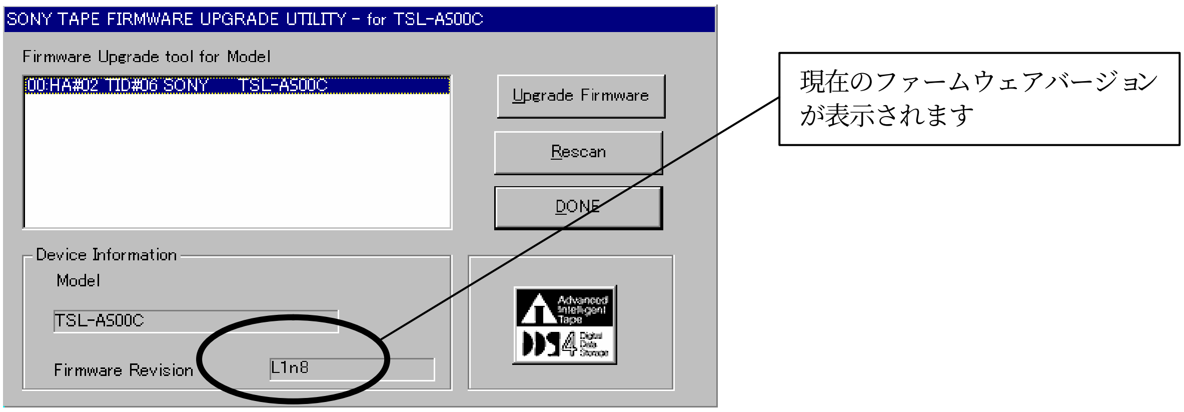
注：使用する実行ファイルは、装置により異なります。
各装置の実行ファイルは前ページの<バックアップ装置・ファームウェア一覧表>を参照ください。

4. 下記画面が起動しましたら「Agree」を押下します。

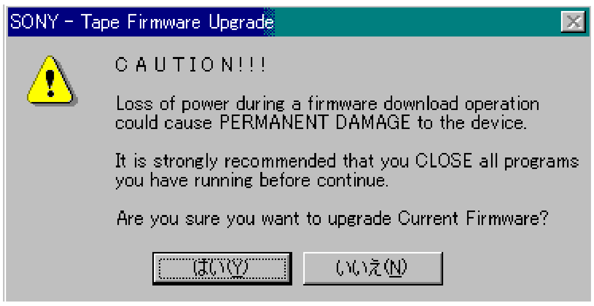
※下記画面が起動するまで 10 秒ほどかかる場合があります。また他に開いている
  メニュー画面の下に隠れていることもありますのでご注意ください。



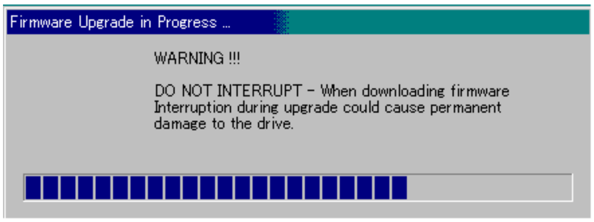
5. 下記画面が表示されましたら「Update Firmware」を押下します。



6. 下記画面が表示されますので「はい」を押下します。



7. 下記画面が表示されファームウェアアップデートが開始されます。



8. 下記画面が表示されたらファームウェアアップデートは完了です。
[OK]を押下してください。



9. 「EXPRESSBUILDER」の CD-ROM を取り出し、ファームウェアアップデート前にカートリッジを取り出した場合は、テープを挿入しサーバを再起動してください。

１０. システムが起動しましたら、手順１と同様の方法でドライバの状態を確認し、ドライバの状況を一番始めに確認した状況に戻してください。

※ドライバはシステムの再起動により、最初の環境で無効だったものが有効になっている場合があります。
その場合はドライバを無効に戻してください。

１１．ファームウェアバージョンの確認

システム上からファームウェアが「L1nb」アップデートされたことを確認します。

a) [スタート] − [ファイル名を指定して実行] を起動してください。

b) 参照をクリックし「C:¥WINNT¥regedit.exe」を選択します。

(regedit.exe が格納されている場所はお客様環境により異なる場合があります。見つからない場合は “regedit.exe ”と入力し検索してください)

c) 「C:¥WINNT¥regedit.exe」を選択後、OK をクリックします。

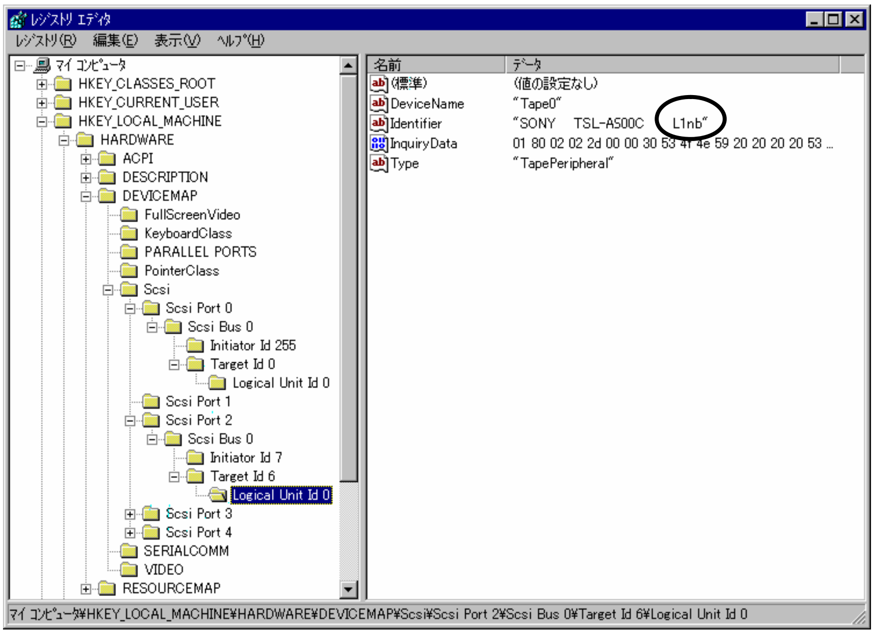
d) ファームウェアを確認するバックアップ装置が接続されている「SCSI Port」−「SCSI Bus」−「Target ID」を選択してください。

※「SCSI PORT」は[HKEY_LOCAL_MACHINE]-[HARDWARE]-[DEVICEMAP]-[Scsi]配下に存在します。(お客様のシステム環境により異なる場合があります)

※接続先が判らない場合は上から順々に選択していってください。

！レジストリエディタ内の情報を変更したり、削除することは絶対に行わないでください。

下記図 の位置にファームウェアバージョンが表示されます。



以上でファームウェアアップデート作業は完了です。

【補　足 】

本件に関するお問合せについて

本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。
また、Windows2000 以外の OS をお使いのお客様は、別途ファームウェアアップデート方法をご案内いたしますので、下記ファーストコンタクトセンターまでご連絡ください。

連絡先:	ファーストコンタクトセンター
TEL:	(03)3455-5800
受付時間:	9:00~12:00　13:00~17:00　月曜日~金曜日(祝日を除く)

※番号をお間違えにならないようお確かめのうえご連絡ください。